

読売新聞は1874年（明治7年）に創刊し、1960年に高岡に北陸支社を開設しました。これまでも、環境に配慮した新聞制作に取り組んできましたが、2020年6月には、SDGsを達成するため、世界の主要な報道機関が国連と連携して取り組む「SDGメディア・コンパクト」に参加し、太陽光発電や電気（EV）トラックの導入も進めています。高岡でも、主に報道を通じて、地域課題の解決に取り組んでいきます。

### 【目標】

SDGsに関する高岡市内の行政・企業・団体の最新の情報を読者に提供し、質の高いSDGs教育を提供する



### 【主な取り組み】

読売新聞は2020年6月、国連と連携して報道に取り組む「SDGメディア・コンパクト」に参加しました。富山版では、2020年以降、SDGsに関する記事を112本掲載していますが、うち25本は高岡に関するものです。今後も量・質ともに充実させ、正しくスピーディーな情報提供に努めます。またSDGsに関連するイベントを主催・後援することで、SDGsに関して直接学び場を提供していきます。

### 【目標】

弊社が所有・入居する北陸読売会館の省エネ化を進め、脱炭素社会の実現を目指す



### 【主な取り組み】

北陸読売会館（高岡市下関町、地下2階・地上9階）の照明器具について、約30%の電力削減効果があるLEDへの交換工事を2021年度から順次実施しており、現在の進捗率は約4割です。主要部の照明時間の短縮や、夜間のエレベーター運転台数の削減も進めています。

### 【目標】

社員の仕事と子育ての両立を重視し、長く働きやすい職場環境作りを進める



### 【主な取り組み】

次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立を図るために本社が策定した行動計画は2008年に厚生労働省の認定を受け、「子育てサポート企業」として「くるみん」マークを2008年に取得しました。以降、これまで6回の認定を受けました。北陸支社でも、働き方改革をいっそう進め、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境作りを進めます。

## 高岡を持続可能なまちにするために

- ・全国展開している企業としては稀ですが、読売新聞は1960年から、北陸での拠点を高岡市に置いており、文化創造都市・高岡の魅力を全国に情報発信するとともに、従業員の雇用などを通じて高岡市の経済発展に協力しています（ゴール11）。
- ・今後もSDGsに関する報道を量・質ともに充実させ、SDGsに関連するイベントの開催などを通じて高岡の持続的成長に貢献していきます（ゴール4）。
- ・所有するビルの省エネルギー化にも取り組みます（ゴール7）。